



## 【 編集後記 】

稲見昌彦

副所長 / 広報広聴・情報支援室室長 / 教授 (身体情報学分野)

いよいよ先端研ソーシャルレビュー第1号発刊となりました。本号では、多様性とイノベーションをテーマに、先端研および先端研が関わる幅広い分野・地域からの知見を集めました。

冒頭では、オープンキャンパスの目玉として制作した「空飛ぶ車椅子」を取り上げました。これは、技術と人間の可能性を追求することで課題をイノベーションに解決する我々先端研の姿勢を体現するものです。

続いて、開催レポートとして「DOOR-T Japan 2024 一般公開シンポジウム」および「ニューロダイバーシティの源流と展開」を紹介しました。多様性がいかに機会を生み出し、技術と結びつくかを探究しました。特に、ニューロダイバーシティの起源と発展に関する記事は、多様性に対する理解を深める一助となることでしょう。

「Why War?」という問いかけは、私たちが直面する最も深刻な社会問題の一つに光を当てています。平和構築への道筋を探る中で、分野を超えた融合研究の重要性を再認識させられました。

次に、和歌山県や宮崎県小林市などの連携自治体の取り組みを紹介しました。地方創生における先端研と自治体とが二人三脚となりイノベーションが進展することを願ってやみません。

最後に先端研に新たに設立された未来戦略ライフサイクルアクセスメント連携研究機構の取り組みを紹介しています。

先端研究と社会をつなぐ架け橋として、本誌は今後も多様な視点と知見を届けてまいります。皆様からのご意見、ご感想をお待ちしております。